

志太榛原地域医療構想調整会議委員 様

静岡県中部保健所長

令和 7 年度第 3 回志太榛原地域医療構想調整会議（書面開催）の
結果について

日頃から、本県の保健医療行政の推進に御理解と御協力を賜わり、厚くお礼申し上げます。

先に書面にて開催しました「焼津市立総合病院新病院建設事業 病床数の見直し」につきましては、書面協議の結果、承認されましたので、お知らせします。

また、下記の要旨のとおり委員から意見があり、協議提案者から回答を得ましたので、お知らせします。

記

意見	回答
<p>新病院建設事業と病床数の見直しについては賛同するが、「急性期病床の一部は、将来の医療需要に応じて回復期病床に転用可能な設備整備とする。（1 病棟 40 床程度を想定）」について、公立病院は急性期医療の充実を図るべきである一方、回復期病床は、民間病院が行ってきたこれまでの経験を活かし、リハビリテーションをはじめ、地域密接の在宅復帰を目指した運用を継続すべきであり、それぞれの機能を生かしながら連携することが重要である。</p> <p>回復期病床は、今後のさらなる人口減少を見据え、焼津市内の稼働率が 100% を上回る状況でなければ、回復期病床を新設するには慎重な判断が必要なものとする。</p> <p>地域においては、病院がそれぞれの役割を保ち、連携・協力しながら医療を提供することが重要であることは明らかであり、焼津市立総合病院には引き続き急性期医療のみを継続し、その後の患者のフォローは民間病院が協力して支えることを前提に、連携を強化していくべきものとする。</p>	<p>新病院においては、引き続き高度急性期及び急性期の病床機能を中心に、がん医療・救急医療及び小児・周産期医療等を提供し、地域の中核病院としての役割を果たしていく。</p> <p>御意見のあった、将来における医療需要に応じた病床機能の転換については、御心配をおかけしたが、当院はあくまでも地域医療支援病院として、引き続き高度急性期及び急性期医療等を提供し、御意見のとおり新病院においても、これまで以上に地域の病院との連携体制を強化していく考えである。</p> <p>今後も、国の動向（新たな地域医療構想等）や医療圏における受療動向を注視しながら、医療提供体制見直しの必要が生じた場合には、志太榛原地域医療構想調整会議に諮り、皆様と協議させていただく。</p>

担 当 地域医療課 大石
電話番号 054-644-9273